

# 省力花きの枝物類をつくりませんか！

喜多方地域では、複合経営の一部門として花きが導入されており、約20品目が栽培されています。その中で、今後、重点的に振興を図っていきたいのが、ユーカリや実バラなどの枝物類です。ユーカリは、喜多方地域に導入され約20年が経過し、喜多方市関柴町を中心に定着しています。ユーカリは、かつて喜多方地域で広く作付けされました。その中には、寒凍害や病気で栽培を取り止めたほ場が見受けられました。また、排水不良なほ場では枯れ込みが生じました。現在、ユーカリが定着しているほ場は、日当たりが良く、排水良好なほ場です。融雪時期でも、滞水しないほ場を選ぶことが大切です。

実バラは、導入から約10年が経過し、当地のような寒冷な積雪地帯でも十分に適応性があり、商品性が高い物が生産されています。

ユーカリ、実バラとも宿根性であることから、一度植え付けると複数年収穫が可能です。露地栽培が可能なることから、初期の導入経費が比較的安価です。興味のある方は、普及所又はJAへお問い合わせください。



ユーカリ



ローズヒップ

# 県オリジナル品種、りんご「会津あかね」、もも「ふくあがり」をつくりませんか！



りんご「会津あかね」

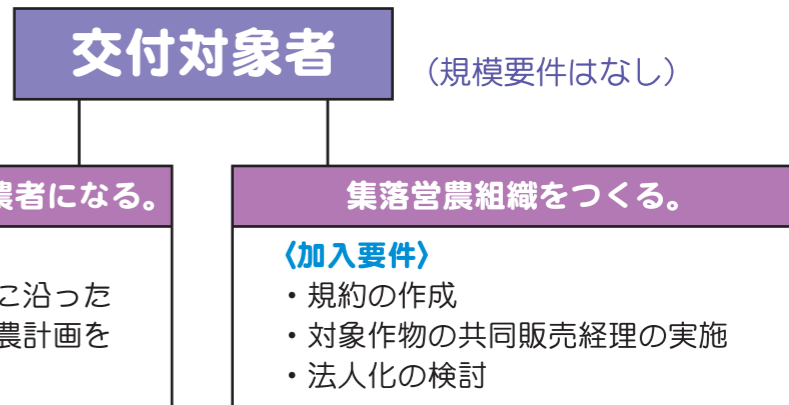
着色が良く、甘味で酸味は少なく、独特の芳香があります。「ふじ」と「紅玉」を交配親に持ち、収穫期は10月上～中旬（育成地：福島市飯坂町）の中生品種です。会津の冷涼な気候でより一層おいしくなる品種です。会津の土地で鮮やかに色づく「会津あかね」を栽培してみませんか。

もも「ふくあがり」

大玉で着色が良く、栽培性に優れた早生品種です。「川中島白桃」と「モモ福島8号」を交配親に持ち、育成地（福島市飯坂町）では「あかつき」の収穫が始まる直前の7月下旬から収穫できます。この時期の品種としては果実が大きく、着色も良く、甘味が多く食味も良好です。ももの栽培はあまり多くない会津地域ですが、これを機にももの栽培を検討してみたいかでしょうか。



# 平成27年産から 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策） 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策） の交付対象者が変わります！



**交付対象者にならない方は、**  
認定農業者や認定新規就農者、集落営農組織である地域の担い手に農地を集積しましょう。

※ そばについては、平成27年産から品質区分（等級）を見直し、規格外はゲタ対策の支援対象から除外されます。  
※ 詳しくは、普及所、市町村にお問い合わせください。

# 天のつばを栽培してみませんか！

平成26年度は前年度に比べ、多くの方が天のつばを栽培しました。倒伏しにくく、いもち病に強く、収量が安定して多くとれる品種です。収量が900kgを超える方もいました。

天のつばは家庭で食べられるほか、業務用としても非常に喜ばれています。また、多収性を活かし、多様な米づくりへの活用も期待できます。当所がサタケの食味計を使って29点の食味調査を行ったところ、食味値の平均値は80点で、食べておいしい結果となりました。

つくっても食べてもうまみがある天のつばを、あなたも栽培してみませんか！



## ワンポイントアドバイス

施肥量が多くても倒伏しにくく、多収を見込める品種ですが、窒素成分が10kgよりも多くなると食味が低下する傾向にあります。標準施肥量（総窒素量8～10kg）を基本とし、過剰な施肥はやめましょう。また、カメムシ対策を必ず行いましょう。